

『豊かな感受性を育む表現活動の充実』

あま市立七宝小学校

1 目的

- (1) さまざまな表現活動を通して、豊かな感性を養い、自ら積極的に文化的活動に取り組もうとする児童を育成します。
- (2) 本物の歌唱や楽器演奏などの表現にふれ、音楽を心から愛する児童を育成します。

2 内容

- (1) 「七宝小フェスタ」を通して、言語表現を磨き、身体表現を工夫し、個々の表現力を高めます。
- (2) 金管部とのコラボレーションを楽しんだり P T A コーラス部と共に歌う楽しさを味わったり、さらには、異学年で合唱したり、表現したりする機会を増やすなど、「歌声集会」の充実を図ります。
- (3) 金管部は、海部地域の団体に加盟し、技術講習会に参加するなど、楽器演奏の技術を高め、より確かな演奏力を身に付けます。
- (4) 金管部・バトン部は、専門家の指導を受け、より高度な技術を身に付けます。
- (5) 野外活動においては、充実した活動を行うために愛知キャンプカウンセラー協会所属の講師を活用し、児童の心に残る活動にします。



フェスタでの表現活動

3 評価

- (1) 外部講師を招いて、より専門的な指導を受けることで、児童の意欲と力量の向上につながりました。講師との打ち合わせ時間を事前に十分設けることで、無駄なくより効果的な指導を行うことができました。
- (2) 野外活動では専門的な立場で児童の安全を図るための支援を受けることができました。事前打ち合わせを行い、綿密な計画を立て、実行につながられました。
- (3) 七宝小フェスタや歌声集会は、各学年それぞれが特徴を生かした発表内容を考えることにより、自ら表現を工夫するなど内容に深まりができ、自ら進んで文化活動に取り組もうとする意欲が高まりました。

4 課題

- ・ 豊かな感受性を養うための取組は成果を修めています。芸術鑑賞会等を通して、表現する楽しさを体験し、関心を高めることができました。さらに、感性を高めるために現職教育等で取り上げ、継続して実践していく力を高める必要があります。

『地域連携を推進し地域の中で育つ子』

あま市立七宝小学校

1 目的

- (1) 地域の人々に学校をより理解してもらい、さらに地域と学校の結びつきを強くし、児童の教育に生かします。
- (2) 体験活動を生かした教育活動を進め、心豊かな児童を育てます。
- (3) 地域講師に様々な学習や活動を支援してもらい、児童が自分の適正や能力をあらためて見つめ、生涯にわたる学習に生かすことができるようにします。

2 内容

- (1) 保護者や地域の関係機関の協力を得て、学校や校外学習の場で共に活動し、地域の人材を生かします。
(地域探検、スーパー見学、味噌醸造工場見学、七宝焼き体験 等)
- (2) 地域人材を学習に生かし、より充実した体験活動を実践します。
(室町文化体験、大正琴、昔の遊び体験、七宝の昔を知ろう 等)
- (3) 地域と連携した避難訓練及び防災関係の体験学習を行います。

3 評価

- (1) 室町文化体験では、茶の湯や生け花など、技能の指導だけにとどまらず、歴史や伝統、作法などについても専門的な立場で指導を受けました。6年生児童全員がすべての体験を行えるように企画し、実行しました。
- (2) 大正琴は、専門的な指導を受け、文化協会の発表会に参加し、成果を発表できました。



茶の湯の様子

- (3) 区長やPTA役員に避難訓練や炊き出し体験の様子を見てもらい、学校の防災に関する取組に対する理解を得ることができました。また、防災ボックスの説明や備蓄物品の周知により、保護者の方々はじめ、地域の方と防災のあり方について、意見交換を行うことができました。

4 課題

- (1) 防災ボックスの存在や備蓄物の内容については、一部の方にしか伝わっていないことを再認識しました。来年度以降も、こうした機会を多く設定し、より多くの方々に周知できるようにしていきたいと考えます。
- (2) 講師をしていただく地域の方々が毎年同じ顔ぶれに定着してきています。継続をお願いしつつも、新しい方にも呼びかけて、地域へ輪を広げていく必要があると感じています。

『確かな学力の育成（現職教育）－個に応じた指導の充実－』

あま市立七宝小学校

1 目的

- (1) 学習規律の定着を図るとともに、基礎的・基本的な内容を身に付けさせることができるよう取り組みます。
- (2) 指導技術を高め、個に応じた支援を意識した授業づくりを進めることで、児童が意欲的に学習に取り組むことができるようにします。

2 内容

- (1) 教科などの指導内容・指導方法の工夫・改善
 - ア 学習指導要領を円滑に実施し、児童の学習意欲を高め確かな学力を確実に身に付けさせるため、研修会や資料などを充実させ、指導内容・指導方法を工夫・改善します。
 - イ 児童の学習意欲や能力を高めるため、長期休業中に外部講師を招聘して指導技術を高め、指導内容・指導方法の工夫・改善に努め授業力を高めま



個に応じた指導のための研修

- (2) 全国学力学習状況調査結果などの分析と活用の推進のための「学校課題解決プラン」のモデルを参考に、七宝小の学習状況などの分析を進め課題の把握と指導の改善に活用します。
- (3) 個に応じた指導の充実
 - ア 通常学級に在籍し特別な支援を必要とする児童との関わり方や支援の方法についての研修を深めます。
 - イ ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりを進めることで、誰にでも分かりやすい授業を展開します。

3 評価

- (1) ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境づくり、授業づくりや授業で役立つ具体的な指導技術について研修を進めてきた結果、昨年度よりもより多くの教師が指導方法の工夫・改善に積極的に努め、児童の学習に対する意欲の向上へとつながりました。
- (2) 学力テストの結果を分析し、学年ごとに課題の把握と指導の改善に生かせるように具体的な方策を考え、実行できました。

4 課題

- ・ 基礎基本の充実、授業における協同的な学びの実践、校内現職教育等による教師力の向上を図ることにより、確かな学力育成につなげる必要があります。

『豊かな心を育む』

あま市立七宝小学校

1 目的

児童の心を育てるために環境を整え、児童が豊かな気持ちで学習や諸活動に取り組めるようにします。

2 内容

- (1) 児童が草花を育て、世話をする活動を通して豊かな感性を養い、生き物を心から慈しもうとする心情を育てます。
- (2) 育てた草花を絵画や粘土、工作などに表現し表現する喜びを味わうとともに他の児童の作品を鑑賞することで互いのよさを認め合う心情を育てます。
- (3) 自然に親しむことで、身のまわりの環境に関心をもち、自らよりよい環境をつくり出そうとする態度を育成します。
- (4) FBC活動に全校児童とPTA花壇クラブが参加し、校内の美化や地域への花配布を行い、花を愛する心や郷土愛を育成します。
- (5) よりよい学級づくりのために、ハイパーQ-Uを実施し、児童が楽しく学校生活を送ることができるような手立てを講じます。
- (6) 子どもの居場所づくり、集団の規範意識の向上、あたたかな人間関係を目指すために、構成的グループエンカウンターを使った人間関係づくりについての現職教育を行います。



私達が育てた花苗です

3 評価

- (1) FBC活動に全校児童とPTA花壇クラブが参加し、地域への花苗を配付することで学校教育への理解が深まっています。
- (2) ウサギの飼育や獣医師の指導を通して命の大切さを学ぶ学習を行い、動物愛護の精神や命を尊重しようとする態度を高めることができました。
- (3) 生き物や学校周辺の草花を絵や工作に表現することで、地域の環境に対する関心を高めることができ、表現力も高めることができました。
- (4) ハイパーQ-Uの結果を分析し、個に応じた支援・指導方法や学級集団への働きかけを工夫していくことで、親和的な学級経営に大いに役立てることができました。

4 課題

- ・ ハイパーQ-Uの結果を保護者と共有し、家庭との連携を図りながら指導にあたることで、児童一人一人の指導をより充実させる必要があると考えます。